

## 「困った時の相談先を知ろう」を実施しました

2月10日（金）昨年度に引き続き、1・2・3年生を対象に「困ったときの相談先を知ろう」というテーマで、「岐阜県若者サポートステーション」「ひだ障がい者総合支援センターぷりずむ」「高山市社会福祉協議会」の方々にお越しいただき、就労に関してハローワーク以外にどのような社会的支援があるのか、社会に出て何か困ったときにどこへ相談に行けばいいのか、ということについて、話をさせていただきました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン形式での講話の実施となりましたが、今年度は、1、2年生は食堂を使い3年生は教室で直接講話をしていただくことが出来ました。対面による講話により、生徒の感想の中には、「昨年度より話の内容が良く分かった。」「講師の先生の説明が直接聞けて迫力を感じた。」等のものが見受けられました。また今年度は、1年から3年までの各学年の保護者の方にも聴講していただき、進路設計の理解を深めていただくことが出来ました。

「岐阜県若者サポートステーション」さんからは、就労支援としてどのようなサポートをしていただけるのかについてお話いただきました。

「ひだ障がい者支援センターぷりずむ」さんには、「生きづらさ」を抱えている人や、事故などで身体に障がいを負った人を対象とした就労支援を行っていること等についてお話いただきました。

「高山市社会福祉協議会」さんは、高山市の福祉を支える機関であり、日常生活で困っていることを「いつでも、誰でも、どんなことでも」相談できる窓口だとお話いただきました。

生徒にとって、社会に出てからの支援について知り、卒業後の不安を軽減することができる良い機会となりました。来年度以降も可能であれば、今年度同様に対面での講話を実施していきたいと思っています。

